



# すてい~る

## 目次

### ●特集 第2回定時総会

●「第2回定時総会」を開催	1
●支部だより	5
●新・副会長訪問 湊 義明 野村鋼機(株)代表取締役	7
●青年部会「第2回定時総会」を開催	8
●「はがねの日」記念行事	9
●平成25年度「特殊鋼販売加工技士(実務編)」資格認定式	11
●いま世界へ! 各社が取り組む海外展開事例—株式会社F&Cホールディングス	13
●理事会・委員会報告	14
●事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail [info@zentokkyo.or.jp](mailto:info@zentokkyo.or.jp)

# 「第2回定時総会」を開催



平成26年6月2日(月)、全特協は東京都千代田区の「パレスホテル東京」において、第2回定時総会を開催した。

正会員42社(委任状提出正会員数163社)、賛助会員等約130名の出席を得た会場では、以下の各議案が審議され、原案どおり満場一致で承認された。

第1号議案 平成25年度事業報告書及びその附属明細書承認の件

第2号議案 平成25年度借借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書承認の件

第3号議案 理事及び監事の選任の件

第4号議案 常勤理事の報酬額の件

報告事項 平成26年度事業計画、収支予算について

第3号議案については、別表の通り理事21名(うち新任8名)、監事2名(うち新任1名)が選任され、定時総会後の臨時理事会で新三役が選出された。

## 全特協第5代会長に佐久間貞介氏を選出

第3号議案で承認された理事・監事により開催された臨時理事会で、新会長に佐久間貞介(佐久間特殊鋼社長)、新副会長に湊義明(野村鋼機社長)、福原實晴(南海鋼材社長)を選出した。第4代会長として3期6年間その任にあたった竹内誠二会長は理事から退任し、今後は顧問として協会の指導にあたることになった。



東京から湊義明氏、大阪から福原實晴氏を副会長に配し、磐石の布陣で発足した佐久間新執行部

## 佐久間新会長・就任のあいさつ

総会および臨時理事会で竹内前会長の後任として新会長に選任いただきました佐久間です。私が業界活動に入りましたのは、名古屋で特殊鋼流通業界を担う若手二世経営者を育成しようという目的で約32年前に芙蓉会という二世会を設立したときに、その設立メンバーとして参画させていただいたのがきっかけです。それから30年以上、業界活動に参画させていただきましたが、まさに私がこのような場所に立っていることも業界活動を通じてお知り合いになることができた多くの皆様に育てていただいたおかげと深く感謝しております。初代会長の井上さん、2代目会長の田島さん、3代目会長の三上さん、そして4代目の竹内さんの後を引き継ぐわけですが、いまその任務の重さに身も心も引き締まる思いです。

幸いにして副会長には湊さんと福原さん、専務理事には林さんという最高のメンバーで船出をさせていただくことができることは大変に心強く思っております。私にできますことは、育てていただいた業界への感謝と恩返しのつもりで精いっぱい務めさせていただきますことしかできません。どうか、皆様にはご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

1925年に東京、大阪、名古屋で設立された鋼商組合をルーツとして約90年。外部の環境変化にあわせて、よりよい姿を求めて諸先輩方の大変な努力の結果、現在の一般社団法人全日本特殊鋼流通協会に変化をとげてまいりました。「遠くをはかる者は富み。近くをはかる者は貧す。それ遠くをはかる者は、百年のために杉苗を植う」という二宮尊徳先生の言葉があります。まさに、協会の基盤事業となっている特殊鋼販売技士・販売加工技士などの人材育成事業等は、このような精神を具現化したものと考えています。

今後も特殊鋼業界や会員各社の皆様にとって、この協会が存在意義をもちつづけるためのあるべき姿を会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。どうかご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



### 佐久間貞介 略歴

昭和25年2月15日愛知県生まれ。昭和47年立教大学法学部卒業後、大同製鋼(現・大同特殊鋼)入社。昭和51年4月、佐久間特殊鋼入社。同62年代表取締役社長就任(現職)。全特協では平成20年6月より副会長職にあった。

## 竹内前会長・退任のあいさつ



3期6年と長い間、会長を務めさせていただきました。この間、会員の皆様、事務局の方にはほんとうにご協力いただき、お世話になりました。改めて御礼を申し上げます。私は平成20年6月の総会で会長に就任し、その直後の9月にリーマンショックがありました。その後はご承知の通り、3・11東日本大震災も発生しました。そしてなんとといっても1ドル70円台まで突入した超円高があり、協会のみならず社会も国も、そして自分の会社も大変な難題を抱えた時代を過ごしました。しかし、特に協会においては皆様のご協力でなんとか困難を乗り越えてこられたことが思い出として残っています。今後、協会顧問に就任しても引き続き、特殊鋼業界に微力ながらお役に立ちたいと思っています。引き続き、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。ほんとうに長い間、ありがとうございました。

## 第2回 定時総会 第3号議案 理事・監事 一覧

役職	氏名	勤務先・役職名		
会長	佐久間貞介	佐久間特殊鋼(株)	代表取締役社長	
副会長	湊 義明	野村鋼機(株)	代表取締役	
〃	福原 實晴	南海鋼材(株)	代表取締役社長	
専務理事	林 健三	(一社)全日本特殊鋼流通協会	事務局長	
理事	青山 信一	青山特殊鋼(株)	代表取締役・専務取締役	新任
〃	飯久保知人	(株)大同分析リサーチ	理事	
〃	石黒 武	大同特殊鋼(株)	常務取締役	新任
〃	井上 寿一	井上特殊鋼(株)	代表取締役社長	
〃	碓井 達郎	碓井鋼材(株)	代表取締役社長	
〃	榎本 哲也	城北伸鉄(株)	代表取締役社長	
〃	勝野 茂	三和特殊鋼(株)	代表取締役社長	新任
〃	北 信一	大洋商事(株)	代表取締役社長	新任
〃	久木田 至	櫻井鋼鐵(株)	代表取締役社長	新任
〃	久留島靖章	日本高周波鋼業(株)	常務取締役	新任
〃	鈴木 健司	東部金属熱処理工業組合	事務局長	
〃	富永 真市	山陽特殊製鋼(株)	常務取締役東京支社長	
〃	松岳 大樹	(株)トーキン	代表取締役社長	新任
〃	櫛 巳芳	辰巳屋興業(株)	代表取締役社長	
〃	藤巻 武利	(株)F&Cホールディングス	代表取締役会長	
〃	山中 敏幸	愛知製鋼(株)	執行役員	新任
〃	湯野沢栄勝	特殊鋼販売加工技士検定試験委員会	委員長	
監事	小澤 信幸	アス力税理士法人	税理士	
〃	中 俊也	中雅俊事務所	公認会計士・税理士	新任

## 定時総会終了後の感謝状贈呈式

定時総会・臨時理事会終了後、竹内前会長をはじめ退任された各理事・監事へ、佐久間新会長から感謝状と記念品が贈呈された。

[退任理事・監事]

竹内誠二 (株)竹内ハガネ商行・代表取締役社長  
 樋口克彦 (株)天彦産業・取締役会長  
 金子篤司 大洋商事(株)・代表取締役社長  
 古瀬 司 日本高周波鋼業(株)・常務取締役  
 堀江 均 大同特殊鋼(株) 常務取締役  
 久保邦男 愛知製鋼(株)・専務取締役  
 佐藤泰久 佐藤泰久会計事務所



# 講演会「これからの日本経済」 ～消費税・オリンピック・アベノミクス～ 国際エコノミスト 今井 激 氏



総会終了後は、山一証券とそのグループに勤務した後、日債銀顧問に就任。「証券から銀行への珍しい転職」というキャリアをお持ちで、現在は国際エコノミストとして活躍される今井激(きよし)氏から、消費税増税や東京オリンピックの影響による日本経済の見通しを聞いた。その中で今井氏は「公共事業増などによる景気急降下回避や異次元金融緩和策などにより再び不況とデフレ、円安の悪循環に陥らないよう配慮している。さらに2020東京五輪招致成功による公共および民間投資により個人消費を含めた需要が年率0.6%でプラスに転じ、さらに海外からの不動産投資もはじまる。2014年度後半から2020年央まで日本経済は右肩上がり」と、これまでの投資経験に基づく豊富なデータをまじえながら結論付け、会場を大いに沸かせた。



## 懇談会



総会、講演会の後は、ご来賓の経済産業省製造産業局鉄鋼課・山下課長よりご祝辞をちょうだいし、協会理事でもある愛知製鋼・山中執行役員による乾杯のご発声で懇談

会を開催した。新執行部の発足による、協会のさらなる発展に期待を寄せながら活気あふれる懇談が行われ、福原新副会長の申す中締めで盛況のうちに散会となった。

### ご来賓あいさつ



経済産業省製造産業局鉄鋼課 課長  
山下隆一様

先ほど、今井先生の講演であったとおり日本経済の先行きに希望が見えています。財務省の法人企業統計でも設備投資の伸び率が非常に高い水準になっており、製造業のうちでも自動車をはじめとする輸送機械が12.7%増えており、鉄鋼に携わる私たちにとっても先行き明るいものとなっています。政府の方では補助金なども準備しております。ぜひ、調子のいいときこそ鉄鋼課をご活用いただいて、皆様方がますます元気になるように全力でサポートさせていただければと思っています。

### 乾杯ご発声



愛知製鋼(株) 執行役員  
山中敏幸様

足元では消費増税の駆け込み反動という危惧もありましたが、思ったほど悪くないというのがメーカー側の感想です。流通でも構造用鋼を扱っていらっしゃるところは、そんなに落ちていないのではないのでしょうか。先日もカーメーカーの役員さんとお話をさせていただきましたが、消費増税の反動をカバーするために新車をどんどん出すということです。モデルチェンジがあれば金型もたくさん需要が出ます。その他、造船、プラントなども期待が持てます。足元もまずまず、来年以降はバラ色ということで盛り上げていきましょう。

### 中締め



(一社)全日本特殊鋼流通協会  
副会長 福原實晴

竹内さん、6年間の会長職はもちろん、その前の東京支部長時代を合わせて10年間。協会にご尽力されて、ほんとうにお疲れさまでした。佐久間新会長は、非常にマジメな理想主義の方です。私も湊副会長も佐久間さんから比べると不真面目なタイプですが、兩人とも佐久間新会長の理想的なものの考え方をいただきつつ、連携を密にしながら新会長を支え、新しい協会の運営と発展に力を尽くしていきたいと考えています。

# 支部だより

## 支部総会開催

東京支部 開催日時：6月17日(火) 開催場所：東京銀行協会「銀行倶楽部」

出席：73社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成25年度事業報告書(案)・収支決算書(案)  
監査報告
- ②平成26年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③役員選任(案)

役員改選期にあたる支部総会では、新支部長に碓井達郎氏(碓井鋼材・代表取締役)を選任。副支部長にも古東一仁氏(大同DMソリューション)、永藪二郎氏(碓井鋼材)の2名を新任。また、北信一氏(大洋商事・代表取締役社長)、青山信一氏(青山特殊鋼・取締役社長)の2名が新たに本部理事として派遣されることになった。

碓井新支部長は「私にとっては大変重い任務を拝命したが、幸運にも引き続き部会長を引き受けていただいた方々や新たにお引き受けいただいた方々、そして非常に心強い事務局の方々のサポートも得ながらなんとか乗り切れるのではないかと心強く思っている。支部を盛会にするには皆さんの多大なる参加が必要なので一人でも多くご参加いただけるようご協力をお願い申し上げます」とあいさつした。



大阪支部 開催日時：6月11日(水) 開催場所：ヒルトンホテル大阪

出席：78社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成25年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成26年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③平成26年度役員改選

定時総会後の懇親会では、福原支部長(南海鋼材・代表取締役社長)が「私は支部長をあと2年やらしていただく。2年後には若い世代にバトンタッチします。次の支部長はたぶん50歳ぐらいになるでしょうね。すると役員は40代ですね。というので一気にと返りますので、今日、この場で2年後若いからとかで、ノーと言わない覚悟をしていただきたい。一昨日、特殊鋼倶楽部さんの総会に出させていただきましたが、絶好調らしいですね。全特協は絶好調とはまだいえない…ボチボチやなど。絶好調宣言までもうちょっと頑張りたいと思います。最後にもっともっと情熱のある、温もりのある大阪支部作りをやりたいと。そこに全力投球をして卒業したいと思っています。皆さんのさらなるご支援、ご理解と力強い声援をお願いします」とあいさつ。

特殊鋼倶楽部大阪支部長の関公彦氏(大同特殊鋼・大阪支店長)が「今日お集まりの正会員、賛助会員の皆さん、お互い同じチームだと。全特協という一つのチームの中で一致団結してチームプレーをすれば必ずいい結果が出る」とあいさつして「乾杯!」。乾杯を前後して、竹内誠二前会長(竹内ハガネ商行・代表取締役)や樋口克彦氏(天彦産業・会長)のユーモラスなあいさつもあり、何度も大きな拍手と笑いが起こった懇親会は、柴山博之氏(山陽特殊製鋼・常務取締役大阪支店長)の中締めで散会となった。



名古屋支部 開催日時：6月18日(水) 開催場所：逓信会館

出席：81社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成25年度事業報告書(案)・決算報告書(案)
- ②平成26年度事業報告(案)・決算報告書(案)
- ③名古屋支部役員及び運営委員選任

佐橋健一郎総務部会長(サハシ特殊鋼・代表取締役)の司会で始まった第二回定時総会は、冒頭、榎支部長(辰巳屋興業・取締役社長)が「世間はアベノミクス効果に沸いているが、この特殊鋼業界においては、その恩恵が届いていないようだ。この業界が盛り上がるように活動していきたい」とあいさつ。本部から出席した林専務理事から佐久間会長就任他役員人事の報告がなされた後、審議に入り、各議案が滞りなく承認された。来賓の嶋田明彦氏(中部経済産業局・製造産業課長)から、「業界の活動に対し協力していく」などの力強いお言葉とご祝辞を頂戴し総会は閉幕した。

つづいて、斉藤政彦氏(大同特殊鋼・統括産業医)による、【職場におけるメンタルヘルス対策 ～不調者への対応方法を考える～】と題したご講演をいただき、従来型うつと新型うつへの対処法を学んだ後、新しく就任した鈴木信介名古屋支部運営委員長(鈴木特殊鋼・代表取締役)のあいさつで交流会を開催した。



## 東北支部 開催日時：6月26日(木) 開催場所：あだたら高原岳温泉「碧山亭」

出席：24社(委任状含む)

次の議題を審議・承認した。

- ①平成25年事業報告書(案)・会計報告書(案)
- ②役員改選(案)
- ③平成26年事業計画書(案)・予算計画書(案)

「今回も無事に東北支部の総会を迎えられたことを嬉しく思っております。皆様と共に、今日の総会懇親会と、情報交換の場として有益な時間を過ごして参りたいと思いますので、宜しくお願い致します」との森高臣支部長(関東鋼鉄・代表取締役)のあいさつの後に総会に進んだ。全会一致で決議がなされ、日下俊之新支部長(クサカ鋼材・代表取締役社長)の「東北はまだまだ厳しい状況が続いておりますが、東北支部の役員及び会員と力を合わせて東北支部を盛り上げて行きたいと思っております」とのあいさつにより閉会し、懇親会へと進み、和やかに懇談の宴が催された。



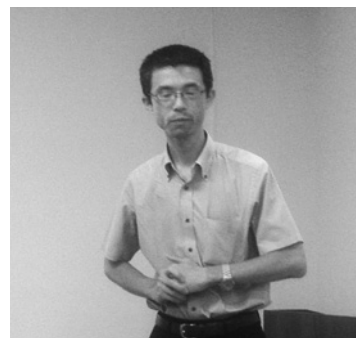
## 北関東支部 開催日時：6月15日(日) 開催場所：りんどう湖口イタルホテル

出席：26社(委任状含む)

次の議題を審議・承認した。

- ①平成25年度事業報告書(案)・収支決算書(案)・監査報告
- ②平成26年度事業計画(案)・収支予算書(案)
- ③平成26年度役員改正(案)

鈴木至典副支部長(鈴木機械・代表取締役)の開会宣言に始まり、長谷川弘和支部長(長谷川ハガネ店・代表取締役社長)の挨拶と議事進行によって審議が執り行われ、役員改正を含めた全ての議事の承認がされた。扇原孝志氏(日立金属・特殊鋼事業部営業課長)の市況説明の後、宮内保副支部長(小山鋼材・代表取締役)の閉会宣言をもって滞りなく終了を迎えた。その後、景気が上向きつつあることを感じながら会員相互の親睦を深める機会となった。



## 静岡支部 開催日時：6月27日(金) 開催場所：静岡グランドホテル中島屋

出席：18社(委任状含む)

次の議題を審議・承認した。

- ①平成25年度事業報告書(案)・収支決算書(案)監査報告
- ②平成26年度の事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③役員改選

総会終了後、懇親会の冒頭のあいさつで、原博康支部長(東泉鋼機・代表取締役社長)は、支部会員の支部活動への参加協力に感謝し、現在行われている特殊鋼販売技士3級研修講座の受講生の各社の支援と、9月に行われる2級の受講生募集について参加を依頼した。つづいて来賓の神野義徳氏(大同特殊鋼・名古屋営業室長)が「今の経済状況がメーカーと販売店とユーザーが共に繁栄できる機会である」とあいさつ。来賓の林健三専務理事の乾杯の発声で和やかに懇親会の歓談が始まり、中締めは、三上忠明副支部長(ノボル鋼鉄・専務取締役)の一本締めで散会となった。総会の翌日には、懇親ゴルフコンペが静岡カントリー島田ゴルフコースにて開催され、多少霧がかかるも無事終了した。



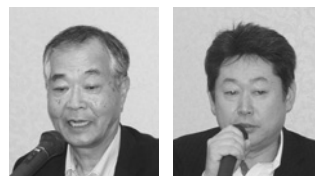
## 九州支部 開催日時：6月20日(金) 開催場所：小倉リーセントホテル

出席：20社(委任状含む)

次の議題を審議・承認した。

- ①平成25年度事業報告書(案)・収支決算書(案)監査報告
- ②平成26年度の事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③役員人事

総会の冒頭に吉永博前支部長(特殊鋼機・代表取締役)が支部の運営への協力、各社の一致団結をお願いした。林健三専務理事が来賓として出席され、本部・会長人事、理事の若返りを報告。「5～10年後を見据えた体制作りと研修事業の充実」のあいさつをいただいた。渡邊洋一支部長(ユアーズスチール・代表取締役)のあいさつで閉会し、懇親会は牧戸武彦氏(大同特殊鋼・福岡営業所所長)の乾杯で幕を開き、終始和やかなうちに散会した。



# 新・副会長訪問

野村鋼機株式会社  
代表取締役 湊 義明



## 若い世代の参加者目線による意見の ボトムアップと舵取りのサポート役に務めたい

### ■下からのボトムアップをサポート

—佐久間貞介氏を新会長にいただく全特協の新執行部で、大阪の福原實晴氏とともに新副会長に就任した湊義明氏。「佐久間会長のサポート役として、新しい協会カラーを打ち出した積極的な事業を後押しする役割に徹したい」と述べるが、「数年先の世代交代へとつなぐ中間的なつなぎの位置づけ」とも自らのポジションを定義づけている。以下、湊副会長が考える今後の新執行部の方向性についてうかがってみた。

「協会事業は、とすればマンネリ化しやすい。会員が興味をもって参加し続けるには、やはり若い世代が積極的に新しいアイデアを発信して、参加するにあたり有意義な活動を立案しなければいけない。執行部が決めた事業に会員が沿うのではなく、各委員会のメンバーが主体的に考えたものをボトムアップして、最終的に会長のイメージやカラーで舵取りする。そうした協会のあり方が望ましく、会長の最終的な意志を副会長がサポートするという形が理想だ」

—そのために重要な役割を果たすが、総務・運営・内外交流・経営効率化・広報など各委員長だが、地方支部の各部会の活動こそ会員参加向上のためのカギとなると湊副会長は力説する。

「支部事業に参加しなければ本部事業への参加もない。だからこそ、支部運営を次の協会を担う世代に任せる。具体的には、50代の確井達郎氏に東京支部長を譲り、40～50代の部会長たちが参加者目線で事業を

考えることで、各社の一般社員を含めた参加者メリットのある協会運営に効果を上げていってほしいと考えている」

### ■今後、重要なテーマは女性の参加

—協会本部の下部組織である支部と、その各部会がローカルでの参加者メリットを考えて事業計画をすれば、自然と本部行事も盛り上がり、湊副会長は考えている。

「支部ごとにいい実績があれば他支部でも相互に影響を受け合って刺激し合い、取り入れる効果もでる。さらに、もうひとつ意識しなければいけないのが女性も参加意識の高まる事業。弊社でもバックオフィスだけでなく営業の最前線まで女性社員が活躍している。そんな彼女らが興味をもって参加してみたい企画がもっと増えなければいけない。ビジネスメリットだけにとどまらず、カルチャーや生活に役立つ一般教養など切り口は多いはず。そんな企画も、参加者目線で若手の委員がどんどんボトムアップしていく環境がすすめばいいと思う」

—協会は会員が参加しないと盛り上がりがない。そのためには、行事の中身をもっと充実させなければいけない。旬の話題をおもしろく役立つように提供する。そのためにも、各委員・部会員がトップ任せにするのではなく積極的に意見を出し合って、収斂していく結果によりよい協会の姿がみえてくるだろうという。

「『入っていてよかった全特協、参加してますますよかった全特協』というキャッチフレーズ、これこそが

まさに本音。受益者負担をなるべく少なく、懇親だけでなくさまざまなメリットを提供できる講演会や文化事業を提供する。経営者だけでなく女性社員にも役立つような事業を意識することで、ますます協会も活気づく。これからの協会の目標ではないか」

### ■団体メリットの追求もより進めながら

—今後の協会という点では、同業者が集まる団体だからこそ可能になるメリットも追求していかなければいけないだろうと湊副会長は考える。

「特殊鋼販売技士研修などの人材育成や教育事業、内外交流委員会による海外視察など、団体として取り組むからこそ可能になり成果を上げてきた事業も数多い。その上で、商慣行や業務効率化など1社ではなかなか意見発信や取り組みが難しい課題にも取り組んでいけるようになるのが、同業者組合としての存在意義の発揮になるだろう」

「もちろん、情報交換の場としての利用価値としても引き続き有益な協会として存在感を発揮していきたいと考えており、各委員会や事務局への要望を積極的に行ってほしい。たとえば、税制のことや補助金のことなど事務局から発信している各種情報も、活用の価値が高いはず。商工会議所主催のものとは違い、同業者組合ならではのピンポイントな情報の場として役立てるとともに、各行事とも旧に倍する参加を、ぜひお願いして協会を活気づけていってほしい」

# 青年部会「第2回定時総会」を開催

## 新メンバーの強化など 20年先まで部会を盛り上げていきたい



見学先の山崎機械製作所で



大型鍛造品とその生産工程で見応えのある見学会となった



あいさつする樋田部会長

平成26年6月13日(金)、青年部会は滋賀県湖南市の「山崎機械製作所」で部会員23名の参加を得て、第2回定時総会を開催した。

総会に先立ち、井上特殊鋼グループの1社として、産業機械や建設機械、船舶、建築部材等の大型鍛造品の型打鍛造を行う、山崎機械製作所・本社工場を見学した。最大8トンのエアスタンプハンマーによる型打鍛造工程のほか、熱処理工程や金型設計・製作の現場など、月産3500トン、500アイテム超という多品種かつ多鋼種の大型鍛造成型を行う、国内でも屈指の生産ラインに興味深く見学した。

見学会を終えて樋田浩三部会長は、「いつか見てみたいと思っていた大型鍛造品の製造工程の迫力に圧倒されたが、小ロットにも対応した金型設計から厳格な品質管理まで一貫した社内生産のフローにも感動した」などと感想を述べた。

続いて、同社会議室を借りて行われた定時総会では、冒頭、樋田部会長が、「この部会も早いもので設立以来14回目の総会を迎える。当初、協会本部を担う人材の創出という目的で活動をはじめ

た青年部会だが、碓井、松岳、久木田の各氏が本部理事となられており、立上げメンバーのひとりとして携わってきた私も感無量。しかし、この部会のいいところは東京、大阪、名古屋その他各地区の方々と出会い、実際の商売にもつながっていくということ。こんな素晴らしい会を今後10年、20年と継続させるために、新部会員の勧誘など引き続き盛り上げていきましょう」などといさつした。

総会では「平成25年度事業報告および収支報告」「平成26年度事業計画(案)および収支予算(案)」「運営委員の選任(案)」が審議され、いずれも承認された。部会員の異動については、50歳到達者による退会3名とともに新規加入会員2名があり、青年部会会員数は54名となった。

### 【新規加入会員】

■大阪支部／藤戸達也(平和鋼材・取締役営業部長)、森公輝(小山鋼材・取締役営業部長)

### 【運営委員の選任】

■退任／五味潤努(五味潤鋼鉄・代表取締役)、鈴木至典(鈴木機械・代表取締役)、保田嘉嗣(保田特殊鋼・代表取締役)

■新任／藤戸達也(平和鋼材・取締役営業部長)、藤巻秀平(F&Cホールディングス・代表取締役社長)

引き続き、第4回運営委員会が開催され、平成26年度の部会長には樋田浩三氏を再任。副部会長については9名を前年に引き続き再任したほか、三上晃史氏(ノボル鋼鉄・常務取締役)を新たに選任した。

# 「はがねの日」記念行事——「はがねの日」イベントレポート——

東京支部 4月11日(金) 第10回ボウリング大会 於：東京ドームボウリングセンター

参加者数：92名

[成績]2ゲームトータルピン数・4人1組  
(女性はH.C.10ピン／1ゲーム)

[団体戦]

優勝	清水特殊鋼	1246ピン
準優勝	藤田商事Aチーム	1212ピン
3位	加藤鋼材	1189ピン

[個人戦・男子]

優勝	近藤亮二(清水特殊鋼)	384ピン
準優勝	根岸正和(加藤鋼材)	350ピン
3位	玉手伸己(加藤鋼材)	346ピン

[個人戦・女子]

優勝	石野奈央子(清水特殊鋼)	349ピン
準優勝	三代川玲子(藤田商事Aチーム)	301ピン
3位	加藤久枝(住商特殊鋼)	291ピン

第10回となったボウリング大会は14社・23チームが参加。山田雅郎実行委員長、藤田剛義、桐島文昭実行委員による始球式で開幕。熱戦の末、昨年に続き清水特殊鋼が連覇。さらに、個人戦男子・女子の部も押える完全優勝を果たした。特に女子の部の石野奈央子さんは大会6連覇となり、大会会長の湊支部長から特別賞を贈られた。



大阪支部 4月19日(土) ファミリーコンサート 於：大阪市中央公会堂

入場者：約700名



はがねの日のイベントとして4回目となるファミリーコンサートでは昨年に続き、京都大学交響楽団OBを招いて開催。開演に先駆け、福原大阪支部長は「ファミリーコンサートにふさわしい、優しく耳慣れた楽曲を多く取り入れました。しばし日常を離れ、弦楽器の幻想的な音色で身も心もリフレッシュしてください」などとあいさつ。ホルストの「セントポール組曲」で幕を開けた公演は例年と趣向を変え、声楽曲数曲も交えて進められた。そして、さらに音楽に親しみを持ってもらおうと“指揮者体験コーナー”も設けられ、観客が指揮をとってブラームスが演奏されるなどステージと客席が一体となったコンサートになった。



## 名古屋支部 4月10日(木)ボウリング大会 於：星ヶ丘ボウル

参加者数：101名

[成績] 2ゲームトータルピン数・3人1組  
(女性HC：1ゲーム20)

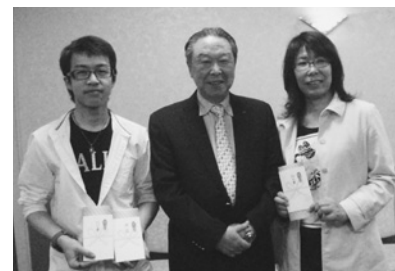
総合優勝 愛鋼チーム A 1066ピン  
2位 桜井興産 972ピン  
3位 孟鋼鉄 948ピン

### 個人優勝

男性 川本鋼材 大橋健太 417ピン  
女性 桜井興産 西野芳子 355ピン

募集人員を上回る大盛況となり、榎支部長の始球式がストライクとなり盛り上がるなか、ゲームがスタートした。

ゲーム終了後は、喉を潤しお腹も落ち着いた頃、特殊鋼に関する三択問題が行なわれ、同業他社との交流を深めるなか、記念すべき行事の幕を閉じた。



## 北関東支部 4月19日(土)ボウリング大会 於：両毛ゴールドレーン

参加者数：70名

例年どおり両毛ゴールドレーン(栃木県佐野市)にて開催。70名余りの参加者が、ボウリングを楽しみ、長谷川支部長のあいさつで始まった表彰式を通して、最後まで交流を深めることができた。

[成績] 2ゲームトータルピン数

優勝 日立金属工具鋼 中野容市朗さん  
1G：163ピン、2G：212ピン、合計375ピン  
準優勝 小山鋼材 大木隆志さん  
1G：186ピン、2G：146ピン、合計332ピン  
3位 竹内ハガネ商工 羽田幸也さん  
1G：120ピン、2G：212ピン、合計332ピン



## 九州支部 4月13日(日)野球観戦 於：福岡ヤフオクドーム

参加者数：101名

九州ステンレス協会との共催で子供の参加21名を含む101名で行った。

当日はあいにくの雨天になり、清掃活動は中止し野球観戦のみを行ったが、ホークスVSオリックスの首位決戦になり、ホークスの快勝で、皆気持ち良く勝利の花火を満喫して楽しい一日を過ごした。



# 平成25年度 「特殊鋼販売加工技士(実務編)」資格認定式



全特協では平成26年5月13日(火)、東京・鉄鋼会館において特殊鋼販売加工技士(実務編)の資格認定式を開催した。今回、新たに認定された有資格者は50名で、基礎編と合わせた特殊鋼販売加工技士では3514名になり、特殊鋼販売技士と合わせた累計有資格者数は1万9998名となった。

認定式では東京から内藤啓介氏、大阪からは杉下信氏(いずれも大洋商事)、名古屋からは増田豊氏(愛鋼)が各支部を代表して竹内会長より資格認定証を授与され、(株)ハヤカワカンパニーの菊地登志子氏が資格取得者を代表して答辞を述べた。

認定式終了後には資格合格をねぎらうための祝賀懇談会も開催された。各社より集った合格者同士が、今後の特殊鋼流通業界のために一層の研鑽と向上を誓い合いながら、懇親を深める場となった。

## 会長あいさつ



(一社)全日本特殊鋼流通協会  
会長 竹内誠二

この研修制度は「責任と自覚と信用」を三本柱に健全なる特殊鋼流通の発展を目指し、いまから38年前にスタート。黒皮から白皮販売、機械加工の付加価値という販売ニーズが高まる中で1994年に特殊鋼販売加工技士研修が始まりました。特殊鋼販売加工技士の頂点に立たれたわけですが資格取得が目的ではなく、これから皆様の仕事のスタートラインです。室町時代の能の大家の世阿弥に「初心忘るべからず」という言葉があります。ぜひ、いまの気持ちを忘れずに、それぞれの会社と特殊鋼業界のため、そして社会にこの知識を役立ててください。

## ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課長  
山下隆一様

特殊鋼は皆様ご承知のように、日本経済にとってきわめて重要な産業です。自動車、建設機械、産業機械などの重要保安部品を担うとともに今後、さまざまな分野で期待される産業ロボットの進展と普及など、日本の製造業の競争力を支えています。メーカー側のがんばりも必要ですが、皆様方のような現場で活躍される特殊鋼のプロが新しい産業の発展のためにはきわめて重要です。ぜひ、ユーザーの信頼を得ながら活躍され、この国の発展に貢献されることも期待しています。

## 答辞



資格取得者代表  
(株)ハヤカワカンパニー 菊地登志子

機械図面の読み方、書き方の基礎編から機械加工の実務研修まで延べ37時間受講しましたが、実体験に基づいた講義をしていただいた先生、業務多忙の中、講習会に快く送り出してくれた上司、同僚に感謝の気持ちでいっぱいです。年々、お客様のニーズが多様化し、材料を右から左へ動かすだけでは満足いただけない状況になるなど商取引も多様化する中で、お客様と情報交換を密にし、提案型の営業が必要と考えます。そのためにも、この研修で学んださまざまな知識を礎に、より高い知識を身に付け、付加価値を高めた商品・情報をお客様に提供し、信頼される営業マンを目指していきます。

## 講評



検定試験委員会 委員長  
湯野沢栄勝

この資格研修で加工技士という言葉を使っていますが、実はものすごく大変なことです。テレビ等でも盛んに職人さんや技術屋さんが紹介されていますが、そうした職人として日本の技術を向上させる役割を、皆さんが担うことになったわけです。勉強はあまり好きではないかも知れませんが、これからも勉強だと受け取ってください。

# 平成25年度「特殊鋼販売加工技士実務編」合格者名簿

支部名	受験者	合格者
東京	22	19
大阪	21	17
名古屋	14	14
合計	57	50

## ■成績優良者：4名

〔東京支部〕

内藤 啓介 大洋商事(株)

菊地登志子 (株)ハヤカワカンパニー

〔大阪支部〕

杉下 信 大洋商事株式会社

〔名古屋支部〕

増田 豊 愛鋼(株)

服部 倫和 大同DMソリューション(株)  
 内藤 啓介 大洋商事(株)  
 新木 勇哉 中川特殊鋼(株)  
 太田 萌美 〃  
 小松 智行 〃  
 佐藤 浩平 〃  
 大伍沙保里 〃  
 ヲッ カイシ 〃  
 遠藤 慎也 日鉄住金物産(株)  
 難波 和弘 〃  
 廣瀬 達也 〃  
 松見聡一郎 〃  
 菊地登志子 (株)ハヤカワカンパニー  
 牧野佐知子 〃  
 池淵 誉央 日立金属工具鋼(株)

杉下 信 大洋商事(株)  
 道畑 隆裕 第一鋼業(株)  
 矢野 洋祐 辰巳屋興業(株)  
 呂 維超 中川特殊鋼(株)  
 中道 潤也 林田特殊鋼材(株)  
 兼山 真一 古池鋼業(株)  
 森 崇博 (株)堀田ハガネ  
 西浦 修平 〃

## 名古屋支部

合格者14名

増田 豊 愛鋼(株)  
 深川 竜一 〃  
 後藤 章之 ウメトク(株)  
 木之下 智 加藤鋼材(株)  
 植手 将志 川本鋼材(株)  
 海道 浩 〃  
 近藤 吉行 (資)近藤ハガネ商店  
 浅田 和平 佐久間特殊鋼(株)  
 伊藤 渉 サハシ特殊鋼(株)  
 仲井 勉 〃  
 堀田 真由 (株)三悦  
 水谷 洋敏 〃  
 赤枝 遊 (株)大同キャスティングス  
 桂木 哲平 中島特殊鋼(株)

## 平成25年度 特殊鋼販売加工技士実務編 合格者名簿

### 東京支部

合格者19名

塩野 将志 (株)U E X

若林 直樹 〃

小川 進 城北伸鉄(株)

渡邊 真幹 新日鐵住金(株)

### 大阪支部

合格者17名

坂口 雅登 青山特殊鋼(株)

兼田 優 〃

丸山 洋志 伊勢鋼材(株)

瀬田 無限 加藤鋼材(株)

山中 克茂 〃

村西 優太 カネヒラ鉄鋼(株)

宮内 聡史 櫻井鋼鐵(株)

辻井 讓二 サントク精研(株)

中野 由教 三和特殊鋼(株)

## 協会副会長などを歴任された樋口克彦氏が 春の叙勲で「旭日双光章」を受章

経済産業省が主催する2014年春の勲章伝達式が、5月13日(火)都内のホテルで開催され、天彦産業の樋口克彦会長が夫婦で晴れの式典に臨んだ。

旭日双光章を受章した樋口氏は、3期6年にわたり全日本特殊鋼流通協会副会長を務めたほか、長らく内外交流委員長にも就き、アジアを中心に海外視察団を派遣、業界の海外進出に尽力

した。同協会大阪支部では支部長をはじめ役員を務めるとともに、中小企業関連団体や鉄鋼流通組合などでも要職を歴任し、地元の発展にも寄与した。

全特協推薦の勲章受章者は、第2代会長を務めた故田島清氏に次いで2人目。初代会長の故井上豊治氏は特殊鋼倶楽部の推薦で受章している。



132名が臨席した春の叙勲伝達式



ご夫婦で晴れの舞台上に望まれた樋口克彦氏

# [シリーズ連載] 第4回 株式会社F&Cホールディングス いま世界へ！ 各社が取り組む海外展開事例

ここ数年来の円高の進行と自動車部品を中心としたメーカー各社の海外生産へのシフト。さらに、輸入鋼材の増加もあって構造用鋼などの国内需要が頭打ちになる中、総合商社だけにとどまらず、特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず、海外へ拠点を構える動きが顕著になっている。海外展開にあたっての留意点は何か。シリーズ連載の第4回は、フリーサイズの特種鋼プレートの加工販売で業界トップクラスの業容を誇るF&Cホールディングスのタイ、インドネシアへの進出の経緯とケーススタディを、藤巻秀平社長にお聞きした。



株式会社F&Cホールディングス  
代表取締役社長兼COO  
藤巻秀平

## 世界販売の第一歩として 堅実性のタイと挑戦的市場のインドネシアへ進出

### ■現地スタッフを中心に営業力強化に取り組む

F&Cホールディングスが現在、海外に展開する事業拠点はタイとインドネシアの2ヶ所。2012年5月にフジマキスチール・タイランドを、2014年2月にはPT・フジマキスチール・インドネシアを立上げて稼働させています。両現地法人とも、日本国内と同様に特殊鋼プレートの加工販売を行い、自動車部品の加工企業や金型製造、設備機器関連の日系企業および現地企業向けに幅広い商材を提供しています。

海外展開の背景は、国内でお取引のあるメーカー等からのお誘い等は特になく、ゼロスタートでの進出が特徴です。元々、国内事業でもどこかの系列というわけではなく新規で商圏開拓し、全国津々浦々に当社ブランド「FFプレート」を広めてきた実績があります。そのため、以前から中国なども含めて検討していた海外展開の第一弾として、タイがもっとも出やすいのではないかと考えました。

タイ進出への後押しになった環境としては、現地在が“東南アジアのデトロイト”を目指すというほどに自動車産業育成に力を入れており、日系企業の進出およびローカル企業の成長も著しいこと。さらに人材の教育レベルが一定以上にあり、親日的な風土も含めて、初めての現地法人設立に適していると判断しました。

当初は日本からのスタッフ8名に現地採用40名程度でスタートしました。日本人スタッフの層を厚くしたのは、営業的にはゼロスタートだったため日系企業を中心に顧客開拓をするため、日本で経験のある営業マンを多めに配属したということです。ところが、これが若干の見込

み違いで、立上げから多少の軌道修正もありました。

日系企業とはいえ、フロントの担当者はローカルスタッフが多いのがタイでの現状で、加えてローカル企業の開拓も進めていかなければいけない中では、やはりタイ語のできる現地の営業スタッフの拡充が求められたのです。現地スタッフにがんばってもらわないと物が売れないということですね。そのため現地のエージェントや日本に実習生や研修生を送り出している組合等に紹介してもらいながら、営業スキルのある現地スタッフの採用と教育を強化していきました。その結果、現在では日本から赴任している社員は3名と比率を下げています。また、業容の拡大とともに70名規模で稼働しています。

### ■国内組との交流も活発に研修教育

現地採用のスタッフが多いことから、教育には特に力を入れています。国内でならフジマキの社風や物づくりの姿勢はこうだ、と知られていることでもタイではそうではないわけです。それに加えて、日本の慣習を伝えること。それらを現地の人に醸成することには時間がかかります。ローカルのスタッフが、これらの作り方・売り方を理解して、それをお客様に伝えるという営業のサイクルづくりが、開所から2年経ってようやく形になってきたところでしょうか。

そうした苦勞のいかもあって、現地スタッフの定着率も良好です。また、国内の社員との交流活動も積極的にしているのも当社の特徴

のひとつだと思います。昨年、全社員を20名ほどのグループに分けて1年間かけてタイ法人への見学と現地スタッフと交流する研修に参加させました。相互のスタッフが触れ合うことで、現地の人たちはフジマキとはどんな会社かが分かり、国内組は大げさかも知れませんがグローバル企業の一員であるとの実感を持ちます。

### ■チャレンジングな姿勢でグローバル展開を

今後の課題は、タイは現地スタッフに任せられる部分を拡大し、早めに独り立ちできる企業として成長させること。インドネシアについては特殊鋼プレートの需要環境が整っていない面も大きいので、地道な顧客開拓と市場創出にあたることです。

付加価値提供であるプレート販売は、ある程度、物づくりの環境が成熟していないと難しいものです。その意味ではインドネシアへの進出は、少し早いだろうという覚悟はあります。ただし、同国へのプレート展開の先駆けとして乗り込んでいるという自負もあります。10年後、20年後の商環境創出のため、「プレート販売で世界一」という目標のため、非常にチャレンジしがたいのあるフィールドだと捉えています。



フジマキスチール・タイランド社屋と現地社員

# 理事会・委員会報告

## ■理事会

### ○第3回理事会

日時：平成26年3月17日 15:00～16:00 於：鉄鋼会館  
内容：第1号議案 平成26年度事業計画書(案)承認の件  
第2号議案 平成26年度収支予算書(案)承認の件  
第3号議案 販売技士・販売加工技士研修制度の改善提案の件  
報告事項：①役員選考委員会の開催報告について  
②委員会報告について  
③今後のスケジュールについて  
④中小企業向け資金繰り支援強化について

### ○第4回理事会

日時：平成26年5月13日 15:00～16:00 於：鉄鋼会館  
内容：第1号議案 平成25年度事業報告書(案)承認の件  
第2号議案 平成25年度収支決算書(案)承認の件  
第3号議案 常勤理事の報酬額(案)承認の件  
第4号議案 第2回定時総会に掲げる議案の件  
報告事項：①委員会報告について  
②会員の入退会について

## ■運営委員会

### ○第4回運営委員会

日時：平成26年3月17日 14:00～15:00 於：鉄鋼会館  
内容：①平成26年度の事業計画と同年度の収支予算について  
②理事及び役員改選等について  
③役員慶弔関連規程細則について  
④支部報告について  
⑤その他

### ○第5回運営委員会

日時：平成26年5月13日 14:00～15:00 於：鉄鋼会館  
内容：①平成25年度の事業報告及び決算について  
②役員の選任について  
③常勤理事の報酬額について  
④第2回定時総会の開催内容について  
⑤会員の状況について  
⑥その他、事務局報告

## ■総務委員会

### ○第3回総務委員会

日時：平成26年3月12日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館  
内容：①平成26年度の事業計画について  
②平成26年度の収支予算について  
③役員の選任方法について(役員選考委員会規程)  
④第2回定時総会の開催について  
⑤会員の勧誘について  
⑥役員慶弔関連規程細則について  
⑦その他、事務局報告(次回理事会等の開催について)

### ○第4回総務委員会

日時：平成26年5月8日 12:00～13:30 於：鉄鋼会館  
内容：①平成25年度の事業報告について  
②平成25年度の決算について  
③役員の選任について  
④第2回定時総会の開催内容について  
⑤その他、事務局報告(次回理事会等の開催について)

## ■人材育成委員会

### 【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

#### ○第22回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成26年3月11日 14:00～17:00 於：安保ホール  
内容：①第3回人材育成委員会議事録報告について  
②平成26年度人材育成事業年間予定及び講師一覧表について  
③第21回WGの議事録報告について  
④1級研修講座の「指導要領」作成について  
⑤その他

#### ○3級講師事前打合せ

日時：平成26年4月17日 15:00～16:30 於：鉄鋼会館  
内容：①平成26年度人材育成事業年間予定等について  
②平成26年度3級研修講座の講師事前打合せ  
③その他

#### ○第23回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成26年5月20日 14:00～17:00 於：安保ホール  
内容：①平成26年度人材育成事業年間予定等について  
②前回ワーキンググループの議事録承認について  
③特殊鋼販売技士2級「指導要領」のメンテナンスについて  
④特殊鋼販売技士1級「指導要領」作成について  
⑤その他

#### ○3級問題選定会議

日時：平成26年6月4日 15:00～16:40 於：鉄鋼会館  
内容：①特殊鋼販売技士3級検定試験の試験問題概要について  
②採点依頼について  
③検定試験、合否判定会議のスケジュールについて

### 【特殊鋼販売加工技士検定試験委員会】

#### ○合否判定会議

日時：平成26年4月9日 15:00～16:40 於：鉄鋼会館  
内容：①特殊鋼販売加工技士「実務編」合否判定  
②講師講評  
③検定試験委員長総評  
④人材育成委員長講評

#### ○特殊鋼販売加工技士資格認定式

日時：平成26年5月13日 16:30～17:00 於：鉄鋼会館  
内容：①経済産業省製造産業局：山下鉄鋼課長御挨拶  
②特殊鋼販売加工技士資格認定証授与

## ■調査研究委員会

### ○第4回調査研究委員会

日時：平成26年3月5日 15:00～17:00 於：大阪鐵鋼会館  
内容：①第68回(10-12月)景況アンケート調査報告  
②第69回(1-3月)景況アンケートの設問について  
③第12回経営環境に関するアンケートの調査結果報告について  
④平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について  
⑤その他

### ○第5回調査研究委員会

日時：平成26年6月24日 15:00～17:00 於：東京・鉄鋼会館  
内容：①第69回(1-3月)景況アンケート調査報告  
②第70回(4-6月)景況アンケートの設問について  
③平成26事業計画及び予算の報告について

## ■広報委員会

### ○第4回広報委員会

日時：平成26年7月9日 15:00～17:00 於：大阪鐵鋼会館  
内容：①広報誌「すてぃーる53号」の校正・確認  
②広報誌「すてぃーる54号」の内容検討について  
③平成26年度事業計画及び予算について  
④その他

## ■青年部会

### ○第3回青年部運営委員会

日時：平成26年3月14日 16:00～17:00 於：鉄鋼会館  
内容：①平成26年度青年部会総会の内容について  
②平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について  
③はがねの日アピール用小物の作成について

### ○第33回青年部会正副部会長会議

日時：平成26年4月22日 15:30～17:00 於：鉄鋼会館  
内容：①第2回定時総会の内容について  
②青年部会の今後のスケジュールについて

### ○第2回定時総会(併第4回運営委員会)

日時：平成26年6月13日 15:00～16:00 於：山崎機械殿会議室  
内容：第1号議案 平成25年度事業報告及び収支報告承認の件  
第2号議案 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件  
第3号議案 運営委員の選任(案)承認の件  
第4号議案 顧問(候補)及び特別顧問(候補)承認の件

# 事務局だより

## 1 経済産業省製造産業局鉄鋼課の人事異動

- (1)当協会の担当でありました山下隆一鉄鋼課長が、平成26年7月4日付で、経済産業政策課長にご異動となりました。後任は、山下隆也(たかなり)氏(消費者庁取引対策課長より)。山下隆一課長には平成24年6月15日より、当協会の運営等についてご指導をいただきました。大変お世話になりありがとうございます。新天地でのご活躍を祈念しております。
- (2)また、但馬敏郎鉄鋼課課長補佐が、平成26年6月9日付で、通商政策局ロシア・中央アジア・コーカサス室長補佐にご転出となりました。後任の流通加工・鉄鋼製品担当は、成瀬輝夫鉄鋼課課長補佐がご担当されます。

## 2 協会支部事務局の人事異動

- (1)大阪支部事務局  
一年以上欠員となっていました大阪支部事務局に元気で明るい女性「松本聡美」が7月1日付で入社しました。大阪支部会員の皆さんよろしくお願ひ致します。
- (2)名古屋支部事務局  
名古屋支部事務局長として4年間活躍されました原龍雄氏が5月31日付にて退職しました。その後任として愛知製鋼より5月1日付にて「野口雅文」が就任しました。  
また8年間名古屋支部の顔として活躍されました伊藤信子氏が7月31日付で退職しました。その後任として6月1日付にて大同特殊鋼より「田中智子」が赴任しました。引き続き名古屋支部会員の皆さんよろしくお願ひ致します。

## 3 「ドイツ・チェコ特殊鋼関連業界視察研修」参加21名を予定(内外交流委員会)

当協会の内外交流委員会では、今年度も海外視察研修として9月13日より6泊8日の日程でドイツ・チェコを訪問することになりました。  
6月17日より募集を開始し7月10日に締め切った結果、21名が参加することになりました。

## 4 特殊鋼販売技士「2級研修講座」の開講について

平成26年度は特殊鋼販売技士研修制度として4月の「入門編講座」からスタートし、5～7月に「3級研修講座」を開講致しました。そして、7月10日全国一斉に「3級検定試験」を実施し、331名の資格認定者が新たに誕生しております。(詳細は次号にて報告)

また、8月下旬～10月に掛けて「2級研修講座」を各支部にて開講する予定です。研修内容は特殊鋼の鋼種別熱処理に関する基礎知識についてであり、30時間の研修講座にて習得した後、10月23日全国一斉に検定試験を実施する認定制度になっております。受講資格は、昨年度以前に「3級研修講座」を受講し「3級資格認定」を有する者となっております。

現在、東京・大阪・名古屋・東北・静岡の支部事務局より開講のご案内をしておりますので、受講を希望される方は開講予定の各支部事務局へお申込みください。

## 5 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋を特別価格(定価の20%引き)で実施しております。是非ご利用ください。

お問合せ、申し込みは本部事務局担当片野までご連絡ください。なお、斡旋は年内で終了させていただきます。  
(Tel : 03-3669-5803、Fax : 03-3669-0395)

## 編集後記

会員、賛助会員の皆様方!!! 暑いですね  
暑中見舞い申し上げます。

改めまして、今年度より、福原副会長の後を継ぎ広報委員会委員長に選任されました、久木田です。業界のために少しでもお役にたちたいと思っております。以後よろしくお願ひ致します。

今回、53号は第二回定時総会をメインにしております。  
竹内前会長、大変ご苦勞様でした。新体制となりリフレッシュされた全特協です。景気も一応上昇気流です。会員の皆様に「いいね!!」と言っていただけるよう頑張っておりますので、ご支援の程よろしくお願ひ致します。

酷暑がつづきます。お身体御自愛ください。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者/久木田 至